

チッパー利用ガイド

2025.8.5

●熱中症対策

昨年に続き今年も猛暑による熱中症注意が必須です。

梅雨明け前から全国的に 35°Cを超える猛暑で熱中症の危険性が高い状態が続くので、気温の予報や熱中症警戒アラート等に注意して、適切な熱中症予防行動を取っていきます。

①東京都・松戸市の最高気温が 35°Cを超える日はチッパー作業を中止

②作業場所は木陰を選び、直射日光が当たらない 風通しが良い場所がよい

③作業人員は、投入口 2 名、部材の集荷等は 3~4 名を配置し、15 分でローテーション、30 分で休憩時間を 10 分程度、水分補給・体の温度を下げるなどを皆で行う。

④チッパー機も気温が高い時は 高温になり負荷がかかるため、給油と共に休みます。

⑤チッパー作業では、里やま団体メンバーとみ花基金の職員が協働で活動しています。

熱中症の事故が起きないよう配慮ください。

1) チッパーの管理

チッパーは (公財)松戸みどりと花の基金が来入した粉碎機で 金ヶ作育苗圃に保管してあり、里やま団体等からの依頼により貸出(運搬・作業指導)している。

里やま応援団事務局で各団体からの貸出し要請を受付、日程調整の上 日時を決定

雨天・荒天は中止・延期、処分材が濡れると排出トラブルになるため中止・延期。

申請書と報告書は事務局の指示に従って提出ください。

2) 作業関係

育苗圃で軽トラにチッパーを積込み、2名で現地に伺う(竹内さん・小高さん)

9時頃の出発予定なので道路事情により到着時間が異なる。

団体のミーティングなどにより開始時間が遅れる場合は 事前に連絡ください。

森の入口内でチッパーを降し、自走式なので作業場まで移動、通路は 1.2mを確保、水平地に設置して、作業場はチップ排出を考慮して広めが望ましい。

粉碎チップは山積み排出 or ガーデンバッグ(2 バッグ持参) へ受けて搬出もできる。処分材は チッパーに投入しやすいように集積しておく

投入しやすいようにリレー式 人海戦術で効率よく作業する。

投入口は騒音が大きいため防音マフ・耳栓・ゴーグルが必要。

投入者は 10~15 分くらいで 作業ローテーションで交代すること。

投入口で処分材をたくさん詰込み過ぎないよう作業、材の太い方から投入。

投入口は一番危険なところなので、手を入れ過ぎず 処分材が暴れないよう注意。

投入者は首から下げるバッグや飾りを身に付けないこと。

*竹内さん・小高さんの注意指示に従って 安全作業を行うこと

緊急ボタンは 危険な場合に押すと止まるが 勝手に押さないように！

チッパーの「傍や周り」では 別の作業を行わないこと

3) 粉碎できる処分材

竹の葉は濡れに注意、土に埋まっている材を掘り出す場合は 特に乾燥に配慮すること。

湿った古い材を投入すると故障の原因になる

剪定枝は直径 12 cmまで粉碎可能、異形の材は投入注意

建築木材のクギ等が付いている材木はNG

太いモウソウチクは割って投入、長尺の竹葉付き、マダケ・ハチクは長尺でもよい

*草は投入しない、特にツル草は刃に絡まり 故障の原因になる。

竹の枝葉とつる草と一緒に投入は禁止。

4) その他注意事項

①作業員の労力・機械の過熱を考慮して 30~40 分で小休憩をとり、安全配慮のこと。

②作業時間は 9 時 30 分~12 時としており、中間点で燃料補給を行う。

③み花基金と育苗圃で行事：花苗配付期間・4 月末の緑と花のフェスティバル準備期間などがある場合、7 月後半から 8 月末までの猛暑期間はチッパー予定を外します。

月間 2~3 回の実施予定

④燃料代（ガソリン）は 原則として使用団体負担としている。

⑤近隣に対して 騒音とチッパー粉の飛散など 事前通知を行うとよい。

⑥風の強い時のチッパー粉の飛散防止対策を検討する。

○粉碎音が大きく、特にモウソウチクは負荷が大きく、太いものは割りを入れるとよい

○作業上 コンパネ 3×6 板と設置台=ビールコンテナ 2 箱分の高さを用意下さい。